

令和元年度
公立大学法人島根県立大学

地域連携活動報告書

全学・概要版 2019.4 ▶ 2020.3

HAMADA

IZUMO

MATSUE



マスコットキャラクター「オロリン」



The University of Shimane



公立大学法人 島根県立大学



島根県立大学は、大学憲章に「地域のニーズに応え、地域と協働し、地域に信頼される大学」を掲げ、教育・研究と並んで大学の重要な使命である「地域貢献」に力をいれてきています。平成25年度から平成29年度の5年にわたる地(知)の拠点整備事業である大学COC事業を引き継ぎ、地域貢献をさらに推進してきました。

キャンパスが浜田・出雲・松江と3か所に位置し、島根県の西から東へと広い地域を対象とし、学部の特徴を生かした多様な地域との連携活動、学生の地域活動、地域での学習も展開しています。浜田・出雲・松江の各キャンパスの取り組みについては、各キャンパスの活動報告にゆずり、ここでは令和元年度の3キャンパス全体の事業や取り組みについて振り返ります。

今年度の研究成果報告・活動発表会として「KENDAI縁結びフォーラム」を開催し、自治体等関係団体、県内外の高等教育機関、一般企業・団体、地域の方々など、多くの皆様にご来場をいただきました。フォーラムでは、浜田市及び益田市、邑南町と本学との共同研究の成果を発表するとともに島根県が実施している「学生の石見地域研究事業」の成果報告も発表がありました。また、主体的に地域貢献に取り組む学生の活動を支援するために創設された「地域貢献推進奨励金」を活用した活動も15演題が報告され、島根県内全域をフィールドとした地域教育の実践により、地域課題解決に向けた学生自身の課題発見、課題解決に向けた取り組みが活性化しました。

活動の実施にあたっては、企業や自治体等の協力が必要不可欠であり、今年度もこれまでの連携協定を継続し、さらに社会貢献を積極的に推進してきている企業との連携協定を締結し、共同研究や教育プログラムを展開することができました。ご協力いただいたみなさまには、この場を借りて御礼を申し上げます。

また、地域で活躍する人材を育てるマイスター養成の課程を修了した「しまね地域マイスター」が浜田・出雲で誕生し、地域の課題に対して向き合い、課題解決に向けた行動力のある人材として成長しています。さらに、キャンパス間の距離があるため、学生間の交流は容易ではありません。3キャンパス学生ボランティア交流会を実施して交流を図っていますが今後も学生交流プラス地域との交流について検討していきたいと考えます。

本大学が取り組むべき地域の課題は多様となっていますが、多様であればこそ公立大学の強みを活かした地域連携活動が展開できるものと思います。今後も「縁結びプラットフォーム」を軸にさらに地域との連携を発展的に継続していき、「地域貢献日本一の大学」を目指して歩んでいきたい。

地域連携推進センター

センター長 吉川 洋子

令和元年度

地域連携活動報告書(全学・概要版)

| | |
|-----------------------------------|-----------|
| はじめに | 1 |
| 1 KENDAI縁結びフォーラム | 3 |
| 浜田市と島根県立大学の共同研究成果報告会 | |
| 益田市と島根県立大学の共同研究成果報告会 | |
| しまね地域マイスター論文完成後の研究発表会 | |
| 地域貢献推進奨励金 | |
| 学生の石見地域研究事業成果報告会 | |
| 2 3キャンパス合同学生ボランティア交流会 | 9 |
| 3 高大連携の取り組み | 11 |
| 島根県立平田高等学校／島根県立松江南高等学校／松江市立女子高等学校 | |
| 学校法人大多和学園／島根県立松江農林高等学校 | |
| 4 地域貢献プロジェクト助成事業 | 12 |
| 5 中村ブレイス株式会社との連携 | 13 |
| 6 島根県との連携 | 13 |



1 KENDA I 縁結びフォーラム

令和2年2月20日(木)に浜田キャンパスを会場にして、今年度の成果報告会となる「KENDA I 縁結びフォーラム」を開催し、自治体等関係団体のみならず、県内外の高等教育機関、一般企業・団体、地域の方々など、約250名のご来場をいただきました。

午前の部では、「浜田市」「益田市」「浜田市と邑南町との「食」を通じた観光・文化交流協議会」それぞれとの共同研究成果報告会のほか、「しまね地域マイスター課程」2期生が取り組んだ卒業研究の表彰式と発表会を行いました。

午後からは、浜田・出雲・松江それぞれ3キャンパスの教員や学生が課題研究の成果や地域貢献活動の取り組みについてポスターセッション形式により発表しました。会場では、産学共同開発の怪談スイーツの試食やえごま茶の試飲が行われたほか、地域の食材で作ったおにぎりが振舞われ、来場者の皆さんや発表者同士のにぎやかで活発な意見交換が行われました。

- ◆ 日時：令和2年2月20日(木) 9:30～14:10
- ◆ 会場：島根県立大学浜田キャンパス/中講義室1・2・6(午前の部)、学生会館カフェテリア(午後の部)

プログラム / 午前の部

- 開会のあいさつ
- 浜田市と島根県立大学の共同研究成果報告会
- 益田市と島根県立大学の共同研究成果報告会
- 浜田市と邑南町との「食」を通じた観光・文化交流協議会との共同研究成果報告会
- しまね地域マイスター論文完成後の研究発表会(総合政策学部)



開会のあいさつ



公立大学法人島根県立大学/清原正義 理事長



浜田市/久保田章市 市長



益田市/山本浩章 市長

浜田市と島根県立大学の共同研究成果報告会

本学では「浜田市との連携協力に関する協定書」に基づき、地域振興など浜田市の施策に有用なテーマについて、浜田市と共同で研究をおこなっています。令和元年度に取り組まれた以下の研究について報告されました。

| | |
|---|----------------------------|
| 「石見神楽の魅力を伝えるインバウンド動画のあり方とコンテンツ制作者人材の育成」 | 浜田キャンパス 島根県立大学 江口真理子 教授 |
| 「コミュニティスペースのあり方に関する調査～コミュニティスペースの開設・運営・連携可能性の検討～」 | 浜田キャンパス 島根県立大学 金野和弘 准教授 |
| 「浜田市に訪れる観光客のモビリティに関する調査」 | 浜田キャンパス 島根県立大学 西藤真一 准教授 |
| 「浜田市予約型乗合タクシーの効率性についての分析・検証」 | 浜田キャンパス 島根県立大学 松田善臣 准教授 |
| 「地域における救急救命体制に関する市民意識調査」 | 出雲キャンパス 島根県立大学 渡邊克俊 講師 |



益田市と島根県立大学の共同研究成果報告会

本学では「益田市との連携協力に関する協定書」に基づき、地域振興など益田市の施策に有用なテーマについて、益田市と共同で研究をおこなっています。令和元年度に取り組まれた以下の研究について報告されました。

| | |
|---|----------------------------|
| 「益田市内企業の人材確保促進に関する研究～「学生の視点」の導入による市内企業の魅力発信」 | 浜田キャンパス 島根県立大学 久保田典男 教授 |
| 「萩・石見空港の振興を目的としたゼミの取り組み：リーフレットの作成と旅行プランコンテスト」 | 浜田キャンパス 島根県立大学 西藤真一 准教授 |

浜田市と邑南町との「食」を通じた観光・文化交流協議会との共同研究成果報告会(総合政策学部)

| | |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 「特色ある浜田と邑南の食の提供：学生がつくる飲食店紹介冊子によるPR」 | 浜田キャンパス 島根県立大学 田中恭子 准教授 |
|-------------------------------------|----------------------------|

しまね地域マイスター論文完成後の研究発表会（総合政策学部）

| | |
|--|------------------------------|
| 中山間地域における自助・共助に基づいた災害対策の検討 ～島根県大田市を事例として～ | 浜田キャンパス 島根県立大学総合政策学部 家迫秀和 |
| 地域コミュニティに関わる学生の役割とその効果 | 浜田キャンパス 島根県立大学総合政策学部 津田智子 |



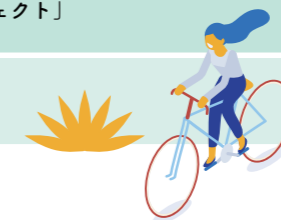
プログラム / 午後の部

- 地域貢献推進奨励金活動報告
- 学生の石見地域研究事業報告（主催：島根県西部県民センター 共催：島根県立大学）
- 島根あさひ社会復帰促進センターの資源を活用した地域貢献及び再犯防止施策の推進に関する委託研究報告
- 島根県立大学しまね地域研究センター活動報告
- Global Dream Hunt（グローバル・ドリーム・ハント）活動報告
- 学生研究・活動報告
- しまね地域マイスター研究報告

地域貢献推進奨励金活動報告

主体的に地域貢献に取り組む本学学生を対象に、活動にかかる経費を支援することで、より広域な地域貢献活動を促進することを目的とし、平成30年度に創設しました。学生による多様な地域貢献活動を通じて、島根県内の地域課題解決に向けた提言・提案を行い、島根県内全域をフィールドとした地域教育を促進するとともに、学生の課題発見能力、課題解決能力を育成していきます。

| | |
|---|----------------------------------|
| 「大学生の地域課題発見能力の養成と地域活性化に関する提言書の作成」 ～地域おこし協力隊との協働の可能性を検証する～ | 浜田キャンパス 島根県立大学 井上厚史 教授、学生12名 |
| 「島根県内企業魅力発掘・発信プロジェクト」 | 浜田キャンパス 島根県立大学 久保田典男 教授、学生20名 |
| 「隠岐諸島・島前における「人材育成（人づくり）」と「コミュニティづくり」の実践的融合JICA ～海士町海外青年研修への学生参画の効果検証の観点から～ | 浜田キャンパス 島根県立大学 佐藤壮 教授、学生7名 |
| 「隠岐島前ヘルスサポートプロジェクト」 ～歌って踊ってエクササイズ～ | 出雲キャンパス 島根県立大学 吾郷美奈絵 教授、学生6名 |
| 「平田高校との連携による旧平田市での「だんだん減塩運動町ぐるみ」プロジェクト」 | 出雲キャンパス 島根県立大学 今中美栄 教授、学生4名 |
| 「廃棄野菜問題に挑む！県大Nラボ・プロジェクト （N for Nutrition, Green, and ReborN）」 | 出雲キャンパス 島根県立大学 中山真美 教授、学生12名 |
| 「出雲北山地域の鹿のジビエ料理・商品開発」 ～出雲北山のごちそうをいただく～ | 出雲キャンパス 島根県立大学 籠橋有紀子 准教授、学生5名 |
| 「平田アクションプロジェクト」 ～「箏サークル」による魅力発掘～ | 出雲キャンパス 島根県立大学 平井由佳 准教授、学生10名 |
| 「隠岐海士町の島食を用いた多文化共生プロジェクト」 ～日本料理を通じた交流～ | 出雲キャンパス 島根県立大学 荒井恵美子 講師、学生6名 |
| 「出雲で世界とつながろう」 ～多文化共生の実現に向けたグローバル人材の育成～ | 出雲キャンパス 島根県立大学 中畑典子 講師、学生5名 |
| 「災害に備える活動」 ～「災活」防災ピクニック～と、続・被災地支援健康交流会 | 出雲キャンパス 島根県立大学 渡邊克俊 講師、学生32名 |
| 「学生による認知症カフェプロジェクト」 | 出雲キャンパス 島根県立大学 荒木さおり 助教、学生5名 |
| 「いずもサマースクール2019」 | 出雲キャンパス 島根県立大学 金山俊介 助教、学生23名 |
| 「高齢者の健康づくり応援プロジェクト」～健康フェスタ2019～ | 出雲キャンパス 島根県立大学 松本祐香 助教、学生12名 |
| 「歴史的町並み保存地域の魅力発掘プロジェクト」 | 松江キャンパス 島根県立大学 竹田茉那 講師、学生10名 |
| 「海士町埴地区の民具調査プロジェクト」 | 松江キャンパス 島根県立大学 中野洋平 講師、学生5名 |



学生の石見地域研究事業報告

島根県では、地域の実情を理解し地域課題を解決しようとする人材の育成と、地域活動の充実を図るため、研究者及び学生と石見地域の活動団体等が効果的に関わる機会を創出することを目的に、石見地域での調査・研究活動を委託する「学生の石見地域研究事業」を実施しています。

| | |
|---|----------------------------|
| 「石見の里海、ご縁つなぎ¥ENつなぎ」 | 浜田キャンパス 島根県立大学 久保田典男 教授 |
| 「地域住民と来訪者の交流による地域経済活性化と、地域外からの若年層の定住促進による地域住民活性化」 | 浜田キャンパス 島根県立大学 村山誠 教授 |
| 「中山間地域における認知症支援啓発活動の可能性と検討」 ～浜田市の事例から～ | 浜田キャンパス 島根県立大学 齋藤暁子 准教授 |
| 「住民・行政が一体となって取り組む高齢者の外出支援についての検討」 | 浜田キャンパス 島根県立大学 松田善臣 准教授 |
| 「地域公共交通を使った「モデルおでかけコース」の考案」 | 島根大学 島根大学 西崎緑 教授 |



海外実践活動支援制度「Global Dream Hunt」活動報告

一人でも多くの学生が海外での「夢への挑戦」、「実践活動」を実現できるように「島根県立大学未来ゆめ基金」をもとに、学生自らが計画する様々な海外活動を支援する奨学金制度です。

| | |
|---------------------------------|--|
| 「TO BE A LEADER!」～自分にしかできないことを～ | 浜田キャンパス 島根県立大学 総合政策学部 松川雅美 |
| 「カンボジアの子供たちに笑顔と健康を！」 | 浜田キャンパス 島根県立大学 総合政策学部 鈴木理恵 |
| 「日本語でもっと日本文化を知ろう！」～手遊び歌から色の歌まで～ | 浜田キャンパス 島根県立大学 総合政策学部 船越郁純 |
| 「フィンランドのネウボラ」と「日本の子育て支援」の違いを発見！ | 出雲キャンパス 島根県立大学 看護栄養学部 大草欽枝、菅田恋楓、柳川莉子 |
| 「管理栄養士のひび割れ卵！台湾の発酵食品を調査！」 | 出雲キャンパス 島根県立大学 看護栄養学部 宗田莉奈、小林萌佳、辻華音 |
| 「ラオスって？図書館って？」～日本との比較から～ | 松江キャンパス 浜田キャンパス 島根県立大学 短期大学部：高瀬美咲、和田祐紀 総合政策学部：浦部太一 |

学生研究・活動報告



| | |
|--|--|
| 「浜田城跡を核とした観光戦略とは」 ～城跡の特性を生かす政策事例から～ | 浜田キャンパス 島根県立大学 八田ゼミ・小川直城 |
| 「SNSは学生の旅行目的の決定に有効か」～私たちの実践と反響～ | 浜田キャンパス 島根県立大学 西藤ゼミ 木山侑映、小濱あやか、中江香那 |
| 「中山間地域におけるファミリー・センター事業の役割と課題の検討」 | 浜田キャンパス 島根県立大学 齋藤ゼミ・梶瑞希 |

閉会のあいさつ



島根県立大学 地域連携推進センター 吉川洋子センター長



2 3キャンパス合同学生ボランティア交流会

浜田・出雲・松江の3キャンパスの学生が、日頃行なっているボランティアを相互に理解し合い、その関心を高めたいと、3キャンパスのボランティア活動でのつながりをつくることを目指しています。また、3キャンパス連携でのボランティア活動を通して、ボランティア活動の意義や魅力について学びます。

- ◆ 開催日：令和元年11月24日（日）
- ◆ 場 所：島根県立大学松江キャンパス同窓会館（カメラホール）
- ◆ 参加者：3キャンパスの学生12名、教職員6名の合計18名
ファシリテーター・国立三瓶青年少年交流の家スタッフ
- ◆ 内 容：各キャンパスの活動報告、ワークショップ「ボランティアについて考える」、まとめ

各キャンパスの活動報告

発表者の活動内容と活動にあたっての「オモイ」の中で、次の4点を重点的に自分の活動と結び付け、今後活かすために考えるきっかけとすることを目指しました。

なぜこの活動を行おうと思ったか

苦労した、どのような方法で乗り越えたのか

活動を共にする仲間と、コミュニケーションをとる上で苦労したこと、意識したこと

ボランティア活動を通して気付いた事、学んだ事



| キャンパス名 | 報告タイトル |
|---------|----------------------------|
| 浜田キャンパス | 中学生向け学習支援“HAMADA留学”の活動について |
| 出雲キャンパス | いずもサマースクールボランティアについて |
| 松江キャンパス | ボランティアサークル VOLCANO の活動について |



【浜田キャンパス】



【出雲キャンパス】



【松江キャンパス】

ワークショップ「ボランティアについて考える」

一人ひとりがボランティア活動について考え、意見交換をすることで、今後の活動目標や意欲につなげることを目的として行われました。ボランティア活動に参加したことがなかった学生からは、「参加する側と主催する側の両方の考えや悩みを聞くことができて参考になった」という声がありました。



グループ内で意見を洗い出し、まとめていきます



グループごとに意見をまとめて発表

まとめ

これまでに取り組んできた活動や、今回の交流会を通して、今後「やりたいこと」、「大切にしたいこと」を書き出し、決意表明を行いました。学生それぞれに、「思いやりを持って活動する」、「誰かのために何かをしたい」という気持ちを大事にするなど、今後の目標や、理想とする姿を思い描くことができました。



参加者全員での記念撮影

3 高大連携の取り組み

島根県内の学校等と高大連携に関する協定を締結し、相互の教員・職員・学生・生徒が連携して、魅力ある大学・高等学校づくりを推進することを目的とする高大連携事業を実施しています。



高等学校等との連携協定締結一覧（令和元年度分）

| 学校名 | 締結年月日 | 主な連携内容 |
|--------------|----------|--|
| 島根県立平田高等学校 | R1.7.19 | 講演会の実施、学生と高校生協働によるワークショップ、ゼミ見学等の相互交流 |
| 島根県立松江南高等学校 | R1.12.17 | 協働による地域課題解決型探求学習の実施、教育実習の受け入れ、大学生と高校生の相互交流、教職員の相互研修・交流、施設の相互利用等 |
| 松江市立女子高等学校 | R2.1.24 | 協働による地域課題解決型探求学習の実施、学部説明会の開催、教育実習の受け入れ、大学生と高校生の相互交流、教職員の相互研修・交流、施設の相互利用等 |
| 学校法人大多和学園 | R2.1.31 | 協働による地域課題解決型探求学習の実施、学部説明会の開催、大学生と高校生の相互交流、教職員の相互研修・交流、施設の相互利用等 |
| 島根県立松江農林高等学校 | R2.3.27 | 「松江農林高校魅力化コンソーシアム（ご縁コンソーシアム）」課題解決型学習等の実施、WEB カメラを用いた双方向学習の実施、大学生と高校生の相互交流等 |



島根県立平田高等学校



島根県立松江南高等学校



松江市立女子高等学校



学校法人大多和学園



島根県立松江農林高等学校

4 地域貢献プロジェクト助成事業

本学では平成 20 年度から、北東アジア地域学術交流研究助成金に「地域貢献プロジェクト助成事業」を創設しています。本学教員が地域協力者（自治体、NPO、自治会、郷土研究者等）とともに、大学の地域貢献活動（調査・研究等）に対して助成するもので、各種事業の実施や成果の還元等を通じて、地域振興への取組を支援しています。

令和元年度の「地域貢献プロジェクト助成事業」交付決定状況


| 代表者氏名 所属キャンパス | 研究課題名 |
|-------------------|---|
| 藤原 眞砂 浜田キャンパス | 大学を核とした浜田市の働く子育て世帯家族の拠点づくりを目指して ～放課後等児童クラブに通う子供と母親、父親の生活・仕事時間調査を基盤にした政策構想～ |
| 豊田 知世 浜田キャンパス | 持続可能な開発目標（SDGs）に係る地方自治体ニーズ集約のための コミュニケーションツールの開発 |
| 赤浦 和之 出雲キャンパス | 西条ガキの未利用資源を用いたパンおよびその加工品の開発 |
| 籠橋 有紀子 出雲キャンパス | 炊飯米の特性分析 ～機能性と良食味を目指して～ |
| 山下 由紀恵 松江キャンパス | 民話蘇生研究 ～『島根県邑智郡大和村昔話集稿－第1巻：比較・宮内・村之郷地区』の復刻と再生～ |
| 西村 健一 松江キャンパス | ICT を活用した特別支援教育力向上の取り組み ～島根県立大学 × 隠岐（OKI）の島プロジェクト～ |



5 中村ブレイス株式会社との連携

令和元年9月5日(木)に、本学と中村ブレイス株式会社(大田市大森町)は、包括的連携に関する協定を締結しました。この協定締結により、今後、教育、研究、地域貢献、産学連携、国際交流、学生及び教職員の交流において相互に協力し、地域社会と国際社会の発展及び人材育成に寄与していきます。



 公立大学法人
島根県立大学
お問い合わせ先

浜田キャンパス (地域連携推進センター)

HAMADA CAMPUS

〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2 TEL:0855-25-9063 FAX:0855-24-2387
E-mail:h-renkei@u-shimane.ac.jp

出雲キャンパス (看護栄養交流センター)

IZUMO CAMPUS

〒693-8550 島根県出雲市西林木町151 TEL:0853-20-0220 FAX:0853-20-0227
E-mail:i-koryu@u-shimane.ac.jp

松江キャンパス (しまね地域共生センター)

MATSUE CAMPUS

〒690-0044 島根県松江市浜乃木7-24-2 TEL:0852-28-8322 FAX:0852-20-0267
E-mail:m-kyousei-c@u-shimane.ac.jp

6 島根県との連携

島根県立大学と島根県は、情報の共有化を図り連携をより一層推進するため、平成24年度から連携企画会議及び連携調整会議を開催しています。この会議では、県と本学が相互に連携を図りながら、県の政策課題を解決していくために、連携の具体的な調整、その進行管理を行っています。

「第10回島根県・島根県立大学連携調整会議」

- ◆ 日時：令和元年5月30日(木) 10:30～11:45
- ◆ 場所：島根県庁 講堂

概要

- ◇ 連携状況の報告
- ◇ 連携を期待する事項についての意見交換
 - 成年年齢下げに対応した学生向け消費者教育
 - 古代出雲歴史博物館における多言語対応の推進
 - ライフスタイルに適応した生産・販売を目的とする島根米の特性の見える化
- ◇ 中期計画概要と進路・入学状況について



令和元年度 地域連携活動報告書 (全学・概要版)

編集・発行

島根県立大学地域連携推進センター

〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2
TEL: 0855-25-9063 FAX: 0855-24-2387
E-mail: h-renkei@u-shimane.ac.jp

